

令和4年度 文京区立明化小学校 授業改善推進プラン

第6学年

	児童の実態	指導のめあて	具体的な授業改善の方法	2学期評価	3学期評価
国語	<p>○随筆や物語を読んだ感想や推薦文などはほとんどの児童が書けるようになっている。しかし、順序立てて構成を考えたり、適切な言葉を使ったりすることに関しては課題がある。</p> <p>○文を読んで理解する学習、大事な情報を落とさずに聞く学習はほとんどの児童ができています。一方、内容を読み違えたり、大事な情報を聞き漏らしている児童もいます。</p> <p>○漢字の字形は分かっているが、とめ、はね、はらいなどが正確に書けない児童がいます。また、場面によって丁寧に書いたり書けなかったりする児童も見られる。</p>	<p>○読み手を意識したり、伝わりやすい構成や言葉選びをしたりして、積極的に伝え合う力を身に付ける。</p> <p>○大事な情報を落とさず、正しく読んだり聞いたりする力を身に付ける。</p> <p>○漢字を正しく覚え、正しく読む力を育てる。とめ、はね、はらい、文字のバランスを意識して書く力を育てる。</p>	<p>○まず、テーマに基づいた自分の思いや考えをもたせる。そして相手に伝えるための表現方法を指導し、身に付けさせる。さらに表現したものを自己評価したり、交流させたりする。</p> <p>○文章の中で重要な部分に気が付けるよう線を引いたり、互いに確認させたりする。そして得た情報を交流、発表し合ったり、相互評価、自己評価、修正をさせたりする。</p> <p>○漢字を正しく習得させるために、漢字ドリルを活用したり、定期的に漢字テストを行ったりする。また、普段から文字を丁寧に書くことを指導し、毎日の積み重ねを大事にする。</p>		
社会	<p>○歴史に関心が高く、新しいことを知りたいと学習に意欲的に取り組む児童が多い。一方で、覚えることが多いことから歴史に対して苦手意識をもっている児童もいる。</p>	<p>○歴史への興味・関心をさらに高めるとともに、理解を深め、我が国の歴史や伝統を大切にすることを育てる。</p>	<p>○具体的・視覚的な資料を多く提示することで、興味・関心を持続させる。</p>		

	○資料の読み取りや考察が不十分であるため、課題に対する取り組みが浅い。	○資料の読み取り等、基本的な力を育て、課題に対して広く深く考察する児童を育てる。	○資料の読み取りや学習のまとめで分かったこと、気付いたこと、思ったこと等を書かせ、交流させることで互いの気付きや考察を深める。		
算数	○普段の学級ではあまり発言をしない児童も、少人数のクラスになると、発表できることが多い。一部、発表することに対して消極的な児童がいる。 ○基礎的・基本的な計算でのケアレスミスをしてしまう児童が多い。 ○文章問題から、立式できない児童がいる。	○自分の考えや意見をすすんで発表する児童を育てる。 ○基礎的・基本的な計算の正確さを高める。 ○演算決定の根拠を自分の言葉で論理的に表現できるようにする。	○発表できない児童には、自力解決前に見通しをもたせたり、児童同士で答えを確認させたりすることで、自信をもたせるような支援をする。 ○ケアレスミスをなくすために、補助計算や途中式をきちんとノートに書かせる。また検算をして自分でミスに気が付けるようにする。 ○計算の意味や計算の仕方を、言葉、数、式、図、数直線を用いて考え、説明する活動をしていく。		
理科	○実験や観察に興味・関心をもって学習に取り組む児童が多いが、集中して実験や観察に取り組めない児童もいる。 ○実験結果をもとに、より妥当な考えを作り出すといった問題解決の力が課題である。	○自ら立てた仮説を検証するための実験方法を考える力を育てる。 ○自分の仮説と実験結果を照らし合わせて、実験からわかったことに自分なりの言葉で表現する。	○児童が学習内容について疑問をもつような実験や資料の提示を行い、自ら立てた仮説を検証するために「何を調べるか」を意識しながら、実験方法を考えるように指導する。 ○友達と考察を交流させ、より妥当な考えを全体で作出す場を設けていく。		

<p>体 育</p>	<p>○体育に関する興味・関心は高く、積極的に行動する児童が多いが、自らの明確なめあてをもって取り組むことのできる児童は少ない。</p> <p>○ボール運動や器械運動、水泳など、基本的な技能の習得に個人差がある。</p>	<p>○個人やチームのめあてをもちそのめあてを達成できるように個人またはチームで協力し、工夫しながら行う。</p> <p>○運動する楽しさやできるようになる喜びを味わわせ、基本的な力を付けられるようにする。</p>	<p>○チームプレーの場合、めあてやめあての実現の方法、個々の役割等を具体的に立てさせ、チームで評価させる。</p> <p>○基本的な動きを自ら体得させるために、個々にめあてをもたせるとともに、グループで互いの動きの長所や短所を観察、意見交換させたり相互評価させたりして技能を高め合う。</p>		
----------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--